

# 三重教務所通信

2022



6月号



発行人:三重教務所長 安田 雅  
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00~17:00  
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010

✉ 三重教務所 E-mail [mie@higashihonganji.or.jp](mailto:mie@higashihonganji.or.jp)

桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス <http://mie-betsuin.com/>



## ○教区合同協議会が開催されました

このたび、「教区合同協議会」が去る5月2日に開催されました。当日は、教区教化委員会各小委員会、協議会及び団体代表者20名が参加され、教区の教化事業について、慶讃法要を迎える今、どのような在り方が望まれるのかについて協議されました。

その内容について、主催する教化推進総務会の幹事である花山孝介氏より報告いただきました。

### 教区合同協議会を終えて

さる5月2日に「教区合同協議会」を、各小委員会・団体から数名参加していただく形で開催をしました。

さて、今回の協議会は、

- 1 「宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要お待ち受け大会」を迎えるにあたり
- 2 今後の三重教区の教化事業内容と教化体制について

の二つのテーマについて話し合いました。

1については、本年10月8日に、教区における慶讃法要お待ち受け大会が開催されることを受けて、企画要員会議の方を中心に企画立案を進める中で、「お待ち受け大会までの歩み、当日の大会、更にはその後の歩みを通して、「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」という慶讃テーマにかけられた願いを、身近な集まりの中で、一人ひとりの課題として共有していただきたい。そのことを教区の教化事業においても視野に据えながら取り組んでいこう」ということが確認され、その願いの下、各小委員会・団体ではテーマをどのように受け止めているかを発表いただく中で課題を共有・確認し、その後班別に分かれて話し合いがもたれました。



参加した教化委員ひとり一人が「慶讃法要」の意義の大切さを受けとめるとともに、主体的な歩みを継続していく積極的な意見が多く聞くことができました。

コロナ禍の状況で、今一つ慶讃法要に対する受け止めや盛り上がり欠けるといふご意見が聞かれます。しかし、逆にこの慶讃法要勤修やテーマが示されなかったならば、私たちは果たして自ら

の誕生に対して考えることがあるでしょうか。意外と考えることもないほど自明で分かったこととして済ませて、問題にすらしらない中で日々を過ごしているのではないのでしょうか。

今回の慶讃法要をどう受け止めながら一人ひとりが参画するのか、逆にしないのか。どちらにしても、その決断に対して自分自身がこのテーマから何が問われているのかを自らの身を通して確認することが大事であると思います。私自身は、今回の慶讃法要並びにテーマは、教区・組・寺院教化の課題に対して大事な示唆を与えていると受け止めています。「人は何のために生まれてきたのか、なぜ死すべきいのちを今生きているのか」。釈尊以来問いかけられている問題に、『仏説無量寿経』では「無上尊なる一人に目覚めることが願われている身」であることを教えています。そのことを、本当に自分の身に領けるために、共々にこのお待ち受け大会を大事な機会にしたいと思ひますし、そのことを通して身近なところで話題にしながら課題を確認される場が開かれることを念じています。



班別座談会の様子

次に、2に関しては、この二年間における教区教化を推進する中で、各委員会・団体ではどのような願いを確認しながら事業を企画立案実施されてきたのか。その内容が教区全体の教化に資するものになっているのであろうか、という問題があると考えています。

それぞれの各委員会・団体における教化事業への取り組みは、これまでの先人が大事にしてきた課題を受け止めながら進められてきたと思います。

しかし、目まぐるしく変化する社会状況・お寺が抱える現状を鑑みると、今までの考え方・施策・方法でいいのかという声も聞きますし、改めてその中身が問われているように思ひます。教区の現状を踏まえ、改めて教区全体の教化理念を検討・策定し、それを通して教区・組・寺院・門徒の教化伝道に繋がる教化の在り方が今求められているのではないかと考えます。

様々な課題が山積している中で、その課題を少しずつ整理しながら、2023年度以降を見据えた教区全体の教化の中身並びにその体制の在り方を検討する歩みを、今年度から始めたいということでご意見をお聞きしました。

2のテーマに付属する課題として、以下の4点を検討資料として提示し、ご意見をお聞きしました。それは、

①組への事業移行も含んだ教化事業内容、事業予算の点検・整理と見直し、またそれらの手法について。

②教区、別院が一体となった「新教化体制」編成の必要性について。

③教区教化事業企画・実施における「教区会議長」の位置付けについて。

④今後の教区教化体制を総合的に検討する「教化委員長諮問機関」の設置について。  
等です。

短い時間での話し合いでしたが、委員の皆さんからは、教化に対する思い、更に体制に関する問題・課題、更には「基軸になるものが必要である。また、それに関わる人と

その任期の問題なども検討すべきである」など大事な示唆をいただきました。

まず、一年という限られた時間の中で作業に入りますが、その後も先を見通しながら持続的に検討機関が必要であると考えています。今後、教区の皆様のご意見もお伺いしながら具体的な内容を検討する委員をお願いする中で進めていきたいと考えています。今後の教区教化を左右する教区全体の課題であります。これからの三重教区と一緒に考えていくスタートにするために、何卒ご協力いただきたいと思います。

(教化推進総務会幹事 花山孝介)

## ○2022年度からの東本願寺出版物の取り扱いについて

### 【7月からの取り扱い】

昨夏の教務所長巡回や『三重教報』にて、2022年7月から教務所における出版物頒布業務を行わないとのお知らせをしてまいりましたが、「教務所で東本願寺出版物を購入したい」という教区の皆さまの強い要望により、今後も教務所において出版物頒布業務を行うことになりました。

しかしながら、教区への頒布交付金の廃止など、2022年度から取り扱いが下記のとおり変更になりますのでご留意くださいますようお願いいたします。

なお、組の同朋大会や大きな法要での委託（出張）頒布、記念品等でご使用の場合も可能ですので、教務所にご相談下さい。

#### 変更点

- ① 新刊書及び勤行本、『真宗聖典』を中心として取り扱いますが、その他の書籍は従来より在庫が少なくなります。お求めの書籍がある場合は、予め在庫を確認いただいてからお求めください。在庫がない場合、本山から届くまで約1週間程度お時間をいただきます。お急ぎの場合は、直接本山にてお買い求めください。
- ② 各寺院への送料について、今までは教務所からの送料は無料にさせていただいていましたが、頒布交付金の廃止に伴い、2022年7月から本山と同様の送料とさせていただきます。

購入合計金額	梱包発送料
～1,999円	300円
2,000円～4,999円	500円
5,000円～9,999円	800円
10,000円～	無料

子ども会開設サポート通信

## 子ども会の疑問・質問 Q&A

子ども会開設の  
お手伝いさせていただ  
きます!!

子ども会開設サポート企画委員会では、以前子ども会開設に対しての疑問・質問・要望を教区内全寺院にアンケート致しました。いただきました各寺院からのご回答は、他の寺院にも共通する課題ですので、今後『教務所通信』でご紹介させていただくこととなりました。子ども会の開設・更なる活性化のためご一読いただき、お役立てください。なお、質問、問合せ等ございましたら、教務所(担当：曲)までご連絡ください。

Q.子どもが少なく、ご門徒が散らばっています。どのように子どもたちに呼びかけたらよいのでしょうか？



A.最近子どもたちとの接点が少なくなり、諦めていらっしゃる方も多いかもしれませんが、呼びかけの方法として、チラシを作り、お参り先や寺報の配布に合わせてご門徒や有縁の方々にチラシを配ると効果的です。いきなりたくさんの人を呼ぶことは難しいので、つながりの深い方を接点に、ご門徒に限らず、縁がある方に呼びかけていただくと、参加につながりやすいと思います。参加する子どもたちが少なくても大丈夫です。少人数の方が一人一人の子どもたちとゆとりをもって時間を過ごすことができますよ。

◎次回は、子ども会のチラシの作り方をお伝えします！

### ○研修会(公開)のおしらせ 詳細は、三重教区・桑名別院ホームページを参照ください

「是旃陀羅」問題に関する教区学習会 (三重教学研究室主催)

◎日時 6月3日(金) 14:00~16:30

◎場所 三重同朋会館3階講堂(桑名市北寺町47)

◎講師 中山善雄氏(教学研究所研究員)

◎参加費 無料

◎申込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

### 真宗門徒の集い (三重教区坊守会主催)

- ◎日 時 6月15日(水) 13:00~16:00
- ◎会 場 柿安シティホール(桑名市民会館)小ホール
- ◎講 師 荒山 信 氏 (名古屋教区恵林寺住職)
- ◎テーマ 「親鸞聖人の教えから観る私の生活」
- ◎講 題 「凡夫の上に開かれる魂」
- ◎参加費 500円
- ◎申 込 お手次の寺院にお申し込みください。

### 同和問題に取り組む三重県宗教教団連帯会議 (三重同宗連) 前期研修会

- ◎日 時 7月7日(木) 14:30~16:00
- ◎場 所 三重同朋会館3階講堂(桑名市北寺町47)
- ◎講 師 黒川みどり 氏 (静岡大学教育学部教授)
- ◎講 題 「水平社宣言より100年、水平社宣言の意義」
- ◎参加費 無料
- ◎申 込 三重教務所まで電話・メールにて申し込みください。

## 6月のテレホン法話

- 6月 1日~15日 …三好 龍成 氏 (長島組 長圓寺衆徒)
- 6月 16日~30日 …坂口 愛 氏 (三重組 長傳寺衆徒)

心をひらく

24時間 いつでも どこでも テレホン法話  
☎ (0594) 23-6191

## Dialogue (ダイアログ・対話) — 教区教化委員会報告 —

### ○ 特伝推進本部

- ・ 5月12日に対面・オンライン併用で月例会議を開催。(i)伊賀組第11次特伝中止に伴う第12次特伝ブロック編成の変更。(ii)A特伝「教区負担経費」算出根拠の確認。(iii)各組進捗状況について報告された。主な協議、確認事項は「特伝懇談会」「特伝合同協議会」における提言を受けて(i)『第12次特伝実施要項(案)』改訂について。(ii)第11次特伝から誕生している「推進員証の交付を受けない特伝修了者」への対応から、教区、各組(部)における「推進員」についての認識の違いが「育成員の姿勢」「組(部)推進員協議会の活動」「特伝の意義」「同朋会運動の推進」等に関わる重要な課題であることを改めて確認。加えてこのことを教区内に周知し課題共有することも視野に入れ、本部では継続して「推進員」について協議することを確認した。(iii)2021年度事業報告、2022年度事業計画について等。
- ・ 5月21日長島組第2回本講座(講師:芳岡恵基氏、補導:大橋宏雄氏)が了清寺にて開催。次回は6月4日(土)於:深行寺。

- ・ 5月22日四日市組第2回本講座（講師：森 英雄氏、補導：西寺真也氏）が西福寺にて開催。次回は6月19日（日）於：信光寺。
- ・ 5月25日臨時本部会議を対面・オンライン併用で開催。2021年度事業報告、2022年度事業計画について協議。

## ○ 社会教化小委員会 公開講座「ジェンダー問題に関する公開講座」

- ・ 5月10日にジェンダー問題に関する公開講座を講師に岡久美子氏（シニアライフ研究所りあもでんな代表他）をお招きして開催した。会場11名、オンライン23名の参加者があった。



岡久美子氏

ジェンダーについての講義概論の後、介護など2つのお題について7グループに分かれて、積極的なディスカッションが行われた。全体での振り返りでは、共感や新たな気づきなど双方向で共に考え、話すことの大切さを教えられた。「女らしく」「男らしく」などのジェンダーバイアスに囚われずに、「人間らしく」「私らしく」生きるということ、日々の暮らしや活動の中で意識できたら、誰もが生きやすい社会に近づくのではないかと感じた。

参加者からは「ジェンダーとは男女、性に関するのみでなく、枝を広げれば介護の問題から地域共生社会のことまで広がる」、「別院報恩講をジェンダーの視点から考えたい」など様々な感想が寄せられた。

今回はこれまでの「学び」から一歩踏み出して、みんなで共に考える場を設けた。時間が限られており十分ではなかったが貴重な一歩となった。

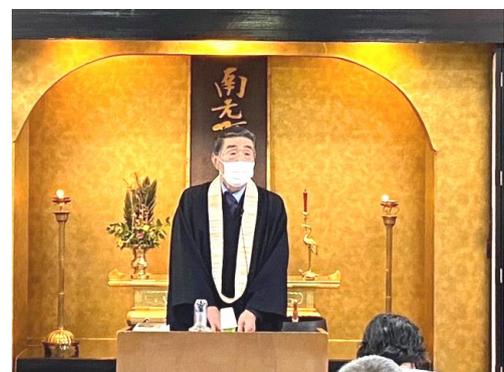
（社会教化小委員会委員 佐々木治実）



ブレイクアウトセッション

## ○ 「差別と人間を考える」協議会 「是旃陀羅」問題に関する教区学習会に参加して

- ・ 5月9日に「差別と人間を考える」協議会の総会に続いて、「是旃陀羅」問題に関する教区学習会が開催された。開会の挨拶で鈴木会長より「是旃陀羅問題」を私たち自身がどう受け止め、どういう歩みをしていくのかということが、「差別と人間を考える」協議会の視点ではないかと思う。そういうことから片山寛隆氏にお願いした」という挨拶の言葉を受けて、片山氏の講義がなされた。



片山 寛隆氏

片山氏の講義の根底には「私たちは部落差別の問題を本当に自分自身の課題として受け止めているのか」という慙愧を内に含んだ怒りが流れている。一見まじめに取り組んでいるように見えて、実は自らの考え方の構造にまでは、考えが及ばないし、それだけ自覚し難いということだろう。しかし、「小森龍邦氏の『観

無量寿経』の「是旃陀羅」の読誦に痛みを感じるという言葉は、読むとか読まないということを問題にしているのではなくて、私たちが無神経にも何も考えずに垂れ流しに読んでいくということが、痛いと言っているのだ。そのことの問題なのだ」「『同朋新聞』に「是旃陀羅」問題に関する宗派の取り組み」が掲載され、それを各門徒に配布している以上、住職はこの問題に対して、自らの問題として各門徒に伝えていかなければならないのに、本当に自分の問題にまでなっているのか。なっていないからこそ何の躊躇もなく配布できるのでないのか」という片山氏の問いかけは、私たちの日常の当たり前になっている感覚にまで及んでいる。「旃陀羅」を暴悪人として「穢多」のごときものとした差別布教がありえたのはなぜか。それは布教する側が差別をする多数派の人の声を代弁し寄り添ってきたからだ。評判のいい住職になりたかったからだ」

真宗に生きようとするものが、いつのまにか真宗以外のものを拠り所にしていないかという問いである。また、部落差別の問題を自分の問題にしない限り、たとい「是旃陀羅」の語を不読にしたところで何の歩み出しにもならないという指摘であったと思う。  
(「差別と人間を考える」協議会委員 岡田 豊)

## ○ 教区坊守会

- ・ 4月25日(月)に若坊守研修会を開催した。講師は渡邊尚子氏(岡崎教区守網寺坊守) テーマは「今だから語りましょう」。対面での研修会は1年3カ月ぶりとなった。まず渡邊氏に「南無阿弥陀仏について」の講義を1時間していただき、次に全員が自己紹介をした後、2班に分かれて茶話会を行った。

- ・ 5月11日(水)に現地研修を開催した。テーマは「親鸞聖人を訪ねて」。訪問場所は京都市内、真宗本廟(東本願寺)、青蓮院、知恩院。慶讃法要を来年に控え、親鸞聖人ゆかりの地を巡り宗祖の生涯を改めて学んだ。



真宗本廟にて

- ・ 5月17日(火)東海連区坊守研修会(岡崎教区担当)が開催され、三重教区から11人が参加した。当初の計画では、午前・午後の日程(昼食含む)での開催だったが、コロナ禍が収まっていないという状況に鑑み、岡崎教務所2階大ホールで午後からの日程に変更となった。岡崎教区以外の参加者はYouTubeでの視聴による参加となったが、三重教区は来年度当番教区にあたっているため、特別に対面で参加となった。テーマは「聴こう 語ろう 伝えよう」。前半の講師は榑野明仁氏。講題は「琵琶で語る上人御絵伝」。次に、岡崎教区合唱団コールアーバーによる仏教讃歌も2曲披露いただいた。そして後半の講師は安藤弥氏。講題「蓮如上人と三河の真宗」。当研修会はコロナ禍により2年越しでの開催となった。

## 2022年度 教区坊守会総会の開催について

2022年度教区坊守会総会を次のとおり開催しますので、教区内坊守会員の皆様におかれましてはご予定くださいますようお願いいたします。なお、正式な案内については、7月上旬頃に各寺院へ送付します。

◎日 時 2022年7月19日（火）13：00～15：30

◎場 所 三重同朋会館3階講堂

◎日 程 13：00～ 開会、挨拶

記念講演 海野 真人 氏（中勢2組法因寺住職）

慶讃法要テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたこと  
の意味をたずねていこう

14：30～ 総会（事業報告及び決算、事業計画及び予算の審議）

15：30 閉会（予定）

## ○ 書籍のご案内

### 『慶喜奉讃に起つ』

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃記念

池田勇諦 著 楠信生 著 金子大榮 著 横超慧日 著  
定価：275円（税込）

「親鸞聖人のご誕生を喜ぶということの根底には、何はともあれ、わが身の誕生が受け取れるか受け取れないかということが、問われているのです」という大切な課題から、南無阿弥陀仏の所在をたずねていく。



## 今月の法語

悲しみは人と人をつなぐ糸である

藤元正樹

## 晴耕雨読（教務所員から）

教務所主事：華岡 眞樹

私の自坊は岐阜県海津町にあり、すぐ近くには木曾三川公園がある。この地域は、木曾川、長良川、揖斐川という大きな川がある。今でこそ立派な堤防が築かれているが、昔はこの3本の川が網の目のように入り乱れ、常に洪水の被害に悩まされてきた。

江戸時代の宝暦年間（1754年～1755年）に、江戸幕府が当時有力藩であった薩摩藩（鹿児島県）に、藩の財力を消費させる目的で工事普請を命じ、三川分離という工事が行われる。その工事の中で、工事を受け持っていたいただいた薩摩藩士84名が、自害や病気で亡くなり、責任者であった平田靱負（ひらた ゆきえ）も莫大な工事費用と数多くの藩士が亡くなった事の責任を取り自害した。木曾三川公園のすぐ近くには治水神社という神社があり、そこにはその薩摩義士が祀られている。

毎年4月25日には大祭が行われ、地元大江地区のそれぞれの自治体から神輿を担いで治水神社まで練り歩き、神社に着いてからそこで宴会を行っていた。そして祭りには、平田靱負の没年である52歳（数え年）の心男（しんおとこ）が中心となるが、この心男は、地元大江地区の同級生から選ぶということになっている。

毎年、この祭りが行われていることはわかっていたが、とうとう今年、心男の年となってしまった。もともと田舎なので、男の同級生は10人。しかも、選ばれるためには、地元に残っていることと、結婚していることが条件だそう。私の親の時代では、同級生も多く、また、心男をやりたい人がたくさんいたそうだったが、今日では、なかなかやり手がなく、いつも揉めるらしい。

この心男だが、平田靱負の切腹時の姿として、白装束にちょんまげのかつら（出来があまりよくない）をつけるという、コミカルな格好をしなければならない。

今回、何とか同級生のM氏に67代目の心男を引き受けてもらった。この心男に関する様々な準備は、経費も含め全て同級生で行うということになっていて、まず、同級生の家を周り、お金を集めることから始まった。といっても田舎の町で、ほとんどの同級生は地元から離れ、毎年の行事にも出たことがない人がいる中、集金も難航する。

そんな中、当日を迎えることになるが、当日は、前日までの雨模様から一転快晴となり、4月としては記録的な猛暑の中、同級生24名中10名が大祭に参加した。中には、中学を卒業し、35年ぶりに会う者もいた。こんな行事でもなければ、二度と顔を合わすこともなかっただろう。コロナ下で、例年の練り歩きや鹿児島への巡礼など、ほとんどの行事は中止となり、神事のみとなったが、一生に一度の行事を無事終えることができた。

来年は、一つ下の学年の同級生が行うことになる。聞くとところによると、私の世代では24名いた同級生が、今年の大江小学校は過疎化が進み、1年生は男女含め3人しかいないそうだ。長く続いてきた祭りであるが、これからどうなるのか、気がかりなところである。



同級生のM氏



治水神社にて



日	曜	行事内容
1	水	特伝本部会議 9:30-
2	木	寺族門徒研修小委員会 13:30-
3	金	合唱団「ひかり」練習 13:00- / 「是旃陀羅」問題教区学習会 14:00-
4	土	③ 長島組特伝本講座 13:00-(於:深行寺)
5	日	
6	月	
7	火	お待ち受け大会執行体制スタッフ全体会 13:30-
8	水	特伝座談会学習会 13:30- / 児連総会 13:30-
9	木	教研月例会 13:30-
10	金	教区同推協定例総会 9:30- / 教区門徒戸数調査委員会 14:00- / 組長・組門徒会長会 15:00-
11	土	新任住職・新教師歓迎懇話会 15:00-
12	日	
13	月	社会教化小委員会 15:00- / 仏青総会 15:00-
14	火	特伝本部会議 13:30-
15	水	真宗門徒の集い 13:00-(於:柿安シティホール)
16	木	青少幼年教化小委員会 13:30-
17	金	教化推進総務会 13:30-
18	土	【連区】大谷保育従事者研修会 14:00-(WEB)
19	日	③ 四日市組特伝本講座 10:00-(於:信光寺)
20	月	子ども会開設サポート企画要員会議 13:30-
21	火	
22	水	⑱ 聖典基礎講座 13:30-
23	木	教化委員会総会 14:00-
24	金	【連区】正副議長会 13:30-(於:岡崎教務所)
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	

① ご坊さんだより ②2022年度テレホン法話チラシ